

アルファ・ウイン 企業調査レポート

ピー・シー・エー株式会社

(9629 東証一部)

発行日：2021年8月3日

アルファ・ウイン 調査部
<http://www.awincap.com/>

● 決算速報

◆ 基幹業務用ソフトウェアに特化した專業大手、クラウドで先行し業界NO. 1

- ・ピー・シー・エー株式会社（以下、同社）は、独自に開発した業務用パッケージソフト（会計、販売管理・仕入在庫管理、給与・人事、就業管理など）を、主に中小企業向けにオンプレミスやクラウドにて提供し、保守サービスを行っている。企業の円滑な経営・運営をサポートする「マネジメントサポート・カンパニー」として社会に貢献することを使命としている。
- ・業務用ソフトのクラウド（PCAクラウド）では先行し、業界NO1の実績を誇る。ストックビジネスモデルへの転換が奏功し、経営の安定性と収益力が大幅に向上。今後、サブスクリプションビジネスに、さらにシフトする方針。2020/3期には、消費税改正とWindows7のサポート終了に伴う特需の恩恵も享受し、過去最高売上高と利益を更新。

◆ 今期第1四半期決算～ポジティブサプライズ：製品の更新需要とクラウドが好調で前年同期比大幅増収、利益は倍増。株式分割、増配も発表。

<Q1 決算概要>

- ・同社の2022/3期第1四半期（2021/4-6月：以下、Q1=4-6月）業績は、売上高3,328百万円（前年同期比=YOY：+19.3%増、但し、「新収益認識基準の今期」と「旧収益認識基準の前期」との単純比較、以下同様）、営業利益975百万円（同+109.4%増）、経常利益987百万円（同+109.4%増）、当期純利益614百万円（同+125.4%増）と、前年同期比では大幅な増収増益決算となった（図表1）。特に利益は倍増し、特需の反動減から減収減益決算となった前Q1からの急回復が鮮明となった。
- ・今Q1は、新収益認識基準を適用しているため、従来基準（旧基準）と比較すると、売上高は426百万円、営業利益は74百万円それぞれ減少しており、これを考慮すると実質的には、売上高3,754百万円（YOY：+34.6%増）、営業利益1,049百万円（同+125.6%増）となる。
- ・通期の会社計画（新基準）に対しての進捗率は、売上高26.7%、営業利益52.3%、当期利益51.5%と極めて好調に推移している。Q1の実績としては、過去5期間の売上高平均進捗率21.2%、同営業利益14.6%を大きく上回る。
- ・同社は、Q1や上期の業績予想を公表していないが、社内想定を大きく上回ったものとアルファ・ウイン調査部では推測している。

【図表1】第1四半期の業績

第1四半期業績 単位：百万円	2021/3第1四半期	2022/3第1四半期	増減率		売上高構成比		2022/3第1四半期		増減率	
	2020年4-6月	2021年4-6月	YOY: %	YOY: 百万円	%	2021年4-6月		YOY: %	YOY: 百万円	
	旧収益認識基準	新収益認識基準	新旧収益認識基準にて単純比較		旧基準との比較(新-旧)	旧基準適用時(修正値)		旧基準にて前Q1と比較		
連結売上	2,789	3,328	19.3	539	100.0	-428	3,754	34.6	965	
種類別										
売上区分										
製品	307	935	204.2	628	28.1	-4	939	205.9	632	
商品	77	85	9.5	8	2.8	0	85	10.4	8	
保守サービス	899	820	-8.8	-79	24.6	-74	894	-0.6	-5	
クラウドサービス	997	1,255	25.7	258	37.7	0	1,255	25.7	258	
その他営業収入	546	231	-57.7	-315	6.9	-348	577	5.7	31	
粗利	1,758	2,284	30.1	526	-	-80	2,384	34.8	608	
粗利率(%)	63.0	68.6	6.7	5.7	-	-	63.0	0.0	0.0	
販売管理費	1,290	1,309	1.5	19	-	-4	1,313	1.8	23	
売上高販管比率(%)	46.3	39.3	-6.9	-	-	-	35.0	-11.3	-	
営業利益	465	975	109.4	510	-	-74	1,049	125.6	584	
営業利益率(%)	16.7	29.3	12.6	-	-	-	27.9	11.3	-	
当期利益	272	614	125.4	342	-	-	-	-	-	
当期利益率(%)	9.8	18.4	8.7	-	-	-	-	-	-	

(出所) 決算短信に基づきアルファ・ウイン調査部が作成

ショートレポート

1/6

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

<Q1 種類別売上高>

・なお、全体の増収幅+539 百万円（旧基準では実質+965 百万円の増収）のうち、製品の増収が+628 百万円（同+632 百万円の増収）、クラウドサービスの増収が+298 百万円（新旧基準で差異はない）と、その他営業収入△315 百万円の減収（同+31 百万円の増収）と、保守の△79 百万円の減収（同△5 百万円の減収）をカバーした。

・種類別売上高（同社の売上高区分）の実績は、以下の通りである。

1. 製品（従来型のパッケージソフトウェア:オンプレミス）は、2021 年 12 月にサポートを終了する予定の「PCA X シリーズ」の前倒の更新需要が発生し（DX シリーズへのシフト）、売上高は前期 Q1⇒今期 Q1 の順に（以下同様）、307 百万円⇒935 百万円（YOY：+204.2%増、構成比 11.0%⇒28.1%）と大幅に増加した。種類別では、最大の増収率と増収要因となり、収益も押し上げたと推測される。なお、新収益認識基準による減少幅は△5 百万円と軽微であった。
2. デジタル化によるペーパーレスの流れが継続しているが、商品（帳票等）は 77 百万円⇒85 百万円（YOY：+9.5%増、構成比 2.8%⇒2.6%）と増収となった。
3. 保守サービスは、X シリーズのサポート終了を見越した解約に伴い、売上高は 899 百万円⇒820 百万円、前年同期比△79 百万円、△8.8%減となったものの、新収益認識基準による減少幅（△74 百万円）を考慮すると、ほぼ横ばいに留まった。
4. クラウドサービス売上高は、1,255 百万円と全種類別中では 37.7%と最大の構成比率となっている。保守サービスの 24.6%と合わせると、ストックビジネスの売上高構成比率は 62.3%を占め、両ビジネスは、継続性と限界利益率が高いことから、売上高・利益の両面で、同社の業績に大きく貢献していると考えられる。クラウド売上高は前年同期比+31.1%増（新収益認識基準による影響はない）と、引き続き高成長を維持している。新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、一時期、クラウドの新規会員数（純増数）が月次ベースで 130~140 社前後まで増加ペースが鈍化した。今 Q1 では 180 社前後まで回復している模様である。

この結果、クラウドに保守サービスを含めた四半期ごとの売上高は、季節性とは無関係に、前年同期比、及び直前の四半期対比でも継続的に増加している。なお、クラウド会員数（ストック）は、年度別では 2019 年 3 月に 12,313 法人、2020 年 3 月に 14,388 法人（YOY：+2,075 増）、2021 年 3 月に 16,444 法人（同+2,056 増）と好調に積み上がっている（2021 年 6 月末時点での会員数は非公表）。

5. その他営業収入は、546 百万円⇒231 百万円（YOY：△57.7%減）と大きく減少した。但し、新収益認識基準の適用の影響が△346 百万円（減収）あり、これを考慮すると実質的な売上高は 577 百万円と、前年同期比+31 百万円、+5.7%の増収となる。

<Q1 利益>

・利益面では、限界利益率が高いビジネスモデルのため、売上高の変動が利益率や利益の増減に大きな影響を与える。今 Q1 は、好採算の製品並びにクラウドの大幅増収と、収益性が相対的に低いその他営業収入の減収により売上高構成比が変化した。プロダクトミックスの改善や原価低減効果により、粗利率は前 Q1 の 63.0%から、今 Q1 には 68.6%へと大きく改善した。なお、2 桁の増収となったが、販売管理費は前年同期比+19 百万円、+1.5%増と微増にとどまり、売上高販管費率は 46.3%⇒39.3%と 7.0%改善した。この結果、営業利益率は 16.7%⇒29.3%（+12.6%）へと大幅に改善した。因みに、同社の通期の営業利益率前提は 15.0%であり、Q1 の実績はこれを大きく上回っている。Q1 には、営業外及び特別損益に大きな発生はなく、営業増益が当期利益の増益につながった。

・なお、Q1 期間（4-6 月）においては、前期連結対象の Keepdata 社（売却済）と今期連結対象のドリームホップ社（買収済）の売上高・損益がほぼ同等と推測され、子会社の入れ替えによる同社の連結業績

ショートレポート

2/6

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

に与える影響は、ほぼ相殺された模様である。

<バランスシート>

- ・今 Q1 末のバランスシートは、前年同期と比較し大きな変化はない。増益が現預金（前期 Q1⇒今期 Q1：10,176 百万円⇒12,401 百万円）と純資産の増加（同：13,824 百万円⇒16,387 百万円）に結びつき、今期計画売上高及び、総資産に対する現預金の比率は、それぞれ 99.6%（平均月商の約 12 ヶ月分）、48.4%と手元流動性は潤沢である。自己資本比率は 63.3%、流動比率は 208.7%と財務体質は良好である。
- ・また、契約負債（従来の前受収益等：クラウドなどのサブスクリプション契約において、提供していない役務に対し支払いを受けた対価）は順調に増加し、5,704 百万円に積みあがっている。
- ・なお、投資有価証券のうち純投資である 1 銘柄の一部を 9 月 28 日までに売却予定である。売却益は 737 百万円を見込んでいるが、会社の今期業績予想には現時点で織り込んでおらず、当期利益の上方修正要因の一つとなろう。なお、売却金額の用途は未定である。

◆今期以降の業績見通し

<会社による今期の業績予想>

- ・同社は今通期の業績（新収益認識基準）を、売上高 12,447 百万円（YOY：△6.5%減、前期が旧収益認識基準のため参考値、以下同様）、営業利益 1,866 百万円（同△19.4%減）、当期利益 1,192 百万円（同△28.5%減）と、減収減益を計画している（P4-図表 2）。因みに、旧基準では、それぞれ 14,153 百万円（前年の旧基準との比較：+6.3%増）、2,012 百万円（同△13.1%減）、1,294 百万円（同△22.4%減）と、増収減益（減益幅の縮小）の予想となる。同社は、現時点では、期初発表の通期見通しを変えていない。
- ・また、同社は、Q1 決算の公表時、1：3 の株式分割（2021 年 10 月 1 日が効力発生予定日）、実質的な増配（分割前の基準での年間配当金：34 円/株⇒36 円/株）を発表した。
- ・なお、株主優待制度の変更は、株式分割による株数を調整したもので、実質的な優待基準と内容は変わらない。

<当調査部による今期以降の予想>

- ・前回レポート（2021 年 6 月 9 日発行）では、当調査部は通期の会社予想は保守的と考え、売上高・利益とも若干の上方修正を見込んでいた。しかし、製品販売（X シリーズから DX シリーズへの買い替え等）やクラウド売上高を中心に今期のスタートが想定以上に好調であり、Q2 以降も継続すると思われることから、今期の売上高・利益予想とも見直した。
- ・特に利益予想を大幅に引き上げ、過去最高益を更新する可能性がある予想している。また、同社が目標として掲げている配当性向（33%）や株主資本配当率（DOE：2.5%）に対して未達の状況が続いており、利益水準に連動して、配当の再増額の可能性もあると推測している。
- ・なお、同社のビジネスはリモートワークとの親和性が高く、またストックビジネスが主体であるため、前期以降の業績を見ても、新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まっている。但し、日本国内においても新型コロナ感染症の再拡大が予想以上に深刻であり、営業やサポート面でのリスクファクターとしては考慮しておきたい。
- ・来期以降の業績予想も暫定ではあるが、クラウド・製品売上高、利益率の前提を変え、売上高並びに利益、配当金の上方修正を行った。正式には、上期決算時に業績予想を見直す予定である。

<新事業の状況>

- ・株式会社ドリームホップは、買収後、営業、サービス・商品、資本の強化を行い、業績改善に向け注力中である。

ショートレポート

3/6

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

- ・また、PCA サブスク・ハイパーの拡販、PCA HUB の自社での開発を進めているが、コロナ禍にあることもあり、製品の更新需要の対応に追われ、大きくは進展していない模様である。
- ・なお、同社のビジネスはキャッシュカウで現預金が年々積みあがってきており、資金効率の改善と成長に向けた投資戦略の実行、次の収益の柱となるビジネスの育成が課題となろう。

<プライム市場>

- ・現在、同社は東京証券取引所第一部に上場している。同社からの正式なりリースはないが、新設されるプライム市場に移行する可能性が高いと当調査部では推測している。

【図表2】 今期、並びに中期の業績予想

単位：百万円、%	2020/3期実績	2021/3期実績	2022/3期CE旧	2022/3期CE新	前回2022/3期E	今回2022/3期E	前回2023/3期E	今回2023/3期E	前回2024/3期E	今回2024/3期E
売上高	14,266	13,308	14,153	12,447	12,500	14,200	13,000	14,400	13,600	15,680
製品	3,166	1,985	1,947	1,914	1,950	3,500	2,000	2,500	2,070	2,600
商品	552	485	443	443	450	400	380	380	330	330
保守サービス	3,471	3,570	3,259	3,112	3,150	3,150	3,050	3,050	2,900	2,900
クラウドサービス	3,374	4,057	4,510	4,510	4,650	5,050	5,300	6,200	5,950	7,500
その他営業収入	3,701	3,227	3,992	2,466	2,300	2,100	2,270	2,270	2,350	2,350
売上総利益率	60.3%	60.1%		61.8%	61.6%	65.0%	61.5%	62.5%	61.4%	62.5%
販売費及び一般管理費	5,817	5,686		5,824	5,800	5,900	5,920	6,050	6,080	6,200
(対売上高比)	40.8%	42.7%		46.8%	46.4%	41.5%	45.5%	42.0%	44.7%	39.5%
営業利益	2,781	2,314	2,012	1,866	1,900	3,330	2,075	2,950	2,270	3,600
(対売上高比)	19.5%	17.4%	14.2%	15.0%	15.2%	23.5%	16.0%	20.5%	16.7%	23.0%
経常利益	2,808	2,340	2,046	1,899	1,930	3,360	2,100	2,980	2,300	3,630
(対売上高比)	19.7%	17.6%	14.5%	15.3%	15.4%	23.7%	16.2%	20.7%	16.9%	23.2%
当期純利益	1,816	1,668	1,294	1,192	1,210	2,475	1,315	1,863	1,440	2,269
(対売上高比)	12.7%	12.5%	9.1%	9.6%	9.7%	17.4%	10.1%	12.9%	10.6%	14.5%
売上高(前期比増減、以下同様)	24.7%	-6.7%	6.3%	-6.5%	-6.1%	6.7%	4.0%	1.4%	4.6%	8.9%
製品	25.8%	-37.3%	-1.9%	-3.6%	-1.8%	76.3%	2.6%	-28.6%	3.5%	4.0%
商品	-2.0%	-12.1%	-8.7%	-8.7%	-7.2%	-17.5%	-15.6%	-5.0%	-13.2%	-13.2%
保守サービス	11.1%	2.9%	-8.7%	-12.8%	-11.8%	-11.8%	-3.2%	-3.2%	-4.9%	-4.9%
クラウドサービス	37.6%	20.2%	11.2%	11.2%	14.6%	24.5%	14.0%	22.8%	12.3%	21.0%
その他営業収入	33.1%	-12.8%	23.7%	-23.6%	-28.7%	-34.9%	-1.3%	8.1%	3.5%	3.5%
売上総利益率(前期との差異)	3.3%	-0.2%		1.7%	1.5%	4.9%	-0.1%	-2.5%	-0.1%	0.0%
販売費及び一般管理費(増率)	10.3%	-2.3%		2.4%	2.0%	3.8%	2.1%	2.5%	2.7%	2.5%
営業利益(増率)	122.8%	-16.8%	-13.1%	-19.4%	-17.9%	43.9%	9.2%	-11.4%	9.4%	22.0%
経常利益(増率)	119.9%	-16.7%	-12.6%	-18.8%	-17.5%	43.6%	8.8%	-11.3%	9.5%	21.8%
当期純利益(増率)	100.4%	-8.1%	-22.4%	-28.5%	-27.5%	48.4%	8.7%	-24.7%	9.5%	21.8%

(注) 2022年3期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用。

「2022/3期CE新」「前回・今回2022/3期E」の前期比増減は旧基準との比較であり連続性はない。

CEは、会社による予想。旧は旧収益基準による予想、新は新収益認識基準による予想。

Eは、当調査部による予想で全て新収益認識基準に基づく。前回予想は、前回レポート作成時(2021年6月9日)の予想。今回予想は、本レポートにて更新した予想。

(出所) 決算短信に基づきアルファ・ウイン調査部が作成

◆ 株価水準

- ・同社はディフェンシブで、サブスクリプションビジネスを展開する内需小型成長株として評価され、過去10年間ではTOPIXを大きくアウトパフォームしている。直近の1年間では景気敏感株が選好され、TOPIXをアンダーパフォームしていた。しかし、Q1の好決算と株式分割・増配はポジティブサプライズと受け止められ、直近では株価は急騰し5,000円前後で推移している。
- ・株価の上昇もあり、同社株と東証一部平均とをバリュエーションで比較すると、今期の会社予想ベースでは割安感はない(参考、東証一部平均、予想PER:15.6倍、PBR:1.3倍、単純平均配当利回り:1.8%)。また、同業他社であるオービックビジネスコンサルタントや、ミロク情報サービス(特別利益を除く今期予想PERは20倍)と比較すると中位である(P5-図表3)。
- ・当調査部では、今期大幅な利益の上方修正を見込んでおり、これを基準に今期の予想PERを試算すると12.9倍(特別損益を除いても15.2倍)、来期ベースでは17倍前後となる。
- ・特需の変動要因がなくなり、サブスクリプションビジネスの好調を背景に、売上高の伸長と利益率の改善が中長期的に見込める好業績の安定成長株として注目していきたい。
- ・また既述のように今回の増配後も、目標として掲げている配当性向やDOEとの乖離があり、中期的にもさらなる株主還元の強化を期待したい。

【 図表 3 】 同業他社とのバリュエーション比較

社名	ピー・シー・エー (PCA:連結)	オービックビジネス コンサルタント(OBC:非連結)	ミロク情報サービス (MJS:連結)
コード	9629	4733	9928
株価(7/30終値)	4,800	5,610	1,571
時価総額(百万円)	36,960	423,016	54,681
今期予想PER(株価収益率)	26.8	37.7	12.6
PBR(株価純資産倍率)	2.0	3.2	2.6
配当利回り(%)	0.8	1.2	2.4
EV/EBITDA(倍)	9.9	23.3	9.5
PSR(株価売上高倍率)	2.8	13.9	1.5
今期Q1 対前年同期増収率(%)	19.3	17.1	10.3
同 営業増益率(%)	109.4	26.3	-5.3
今通期会社予想 対前年同期増収率(%)	-6.5	16.2	10.2
同 営業増益率(%)	-19.4	18.9	-26.5

時価総額=発行済株式総数*株価(7/30終値)

PERの計算に用いたEPSは、全て2022/3期会社予想、PBRの計算に用いたBPSは今期Q1決算を反映

EV/EBITDA=(時価総額+有利子負債-現預金)/(営業利益+減価償却+無形固定資産償却等)、有利子負債・現預金は今期Q1決算を反映

PSR=時価総額/売上高(2022/3期会社予想)、Q1及び通期予想の前年同期比は収益認識基準が異なり参考値(今期:新基準/前期:旧基準)

(出所)アルファ・ウイン調査部が各社の決算短信、有価証券報告書、株価データから作成

【 9629 ピー・シー・エー 業種：情報・通信 】 図表 A											
決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2018/3	9,785	4.5	807	86.8	834	79.9	441	174.1	64.37	1,644.39	31.00
2019/3	11,439	16.9	1,248	54.7	1,277	53.0	906	105.5	133.25	1,789.76	31.00
2020/3	14,266	24.7	2,781	122.8	2,808	119.9	1,816	100.4	272.92	2,027.42	54.00
2021/3	13,308	-6.7	2,314	-16.8	2,340	-16.7	1,668	-8.1	250.49	2,374.93	34.00
2022/3 CE 旧基準	14,153	6.3	2,012	-13.1	2,046	-12.6	1,294	-22.4	—	—	—
2022/3 CE 新基準	12,447	-6.5	1,866	-19.4	1,899	-18.8	1,192	-28.5	178.86	—	36.00
2022/3 E 新基準	14,200	6.7	3,330	43.9	3,360	43.6	2,475	48.4	371.27	2,712.18	36.00
2023/3 E 新基準	14,400	1.4	2,950	-11.4	2,980	-11.3	1,863	-24.7	279.46	2,955.65	36.00
2024/3 E 新基準	15,680	8.9	3,600	22.0	3,630	21.8	2,269	21.8	340.37	3,260.01	38.00
2019/3 Q1 旧基準	2,346	11.3	57	-67.1	69	-62.3	34	-64.6	5.09	1,624.69	—
2020/3 Q1 旧基準	3,073	31.0	587	917.5	598	754.6	364	945.3	54.76	1,848.46	—
2021/3 Q1 旧基準	2,789	-9.2	465	-20.7	471	-21.2	272	-25.1	40.99	2,029.56	—
2022/3 Q1 旧基準	3,754	34.6	1,049	125.6	1,061	125.3	—	—	—	—	—
2022/3 Q1 新基準	3,328	19.3	975	109.4	987	109.4	614	125.4	92.24	2,432.89	—

(備考) CE:会社予想、E:アルファ・ウイン調査部予想、Q1:4-6月決算

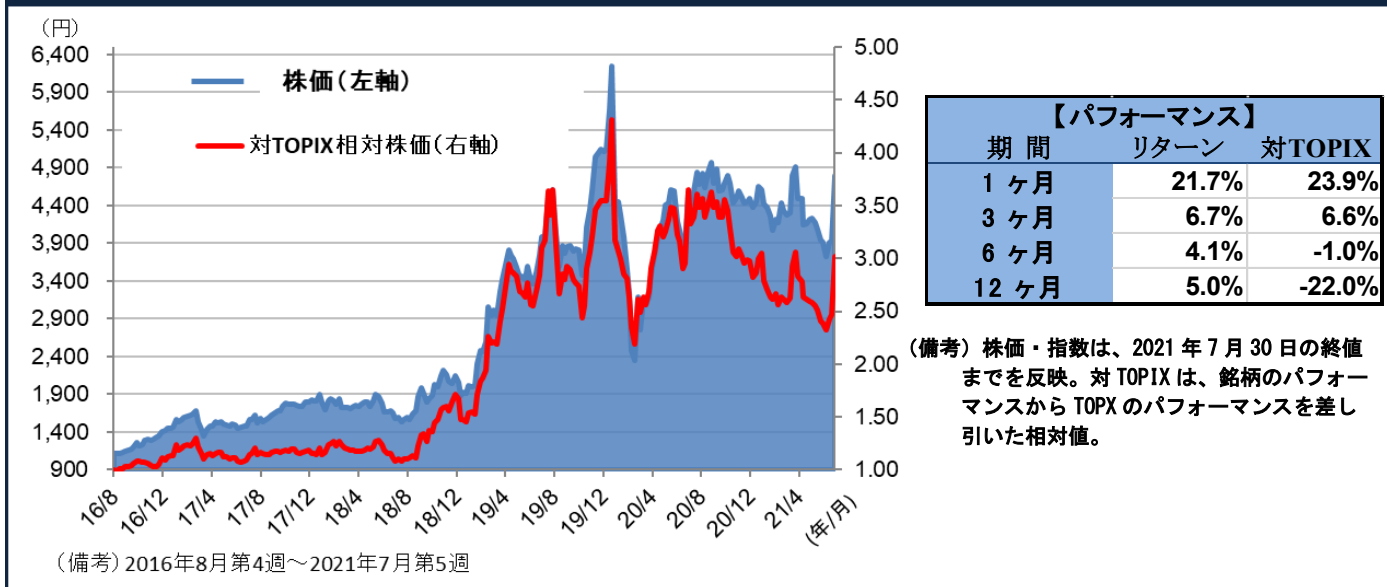
EPS並びにBPS、配当金の予想は、2021年10月1日予定の1:3の株式分割を反映していない。

旧基準は旧収益認識基準、新基準は新収益認識基準を意味する。

【 株価・バリュエーション指標：9629 ピー・シー・エー 】 図表 B						
項目	2021/7/30	項目	PER(倍)	PBR(倍)	配当利回り	配当性向
株価(円)	4,800	前期実績	19.2	2.0	0.7%	19.8%
発行済株式数(千株)	7,700	今期予想	12.9	1.8	0.8%	9.7%
時価総額(百万円)	36,960	来期予想	17.2	1.6	0.8%	12.9%
潜在株式数(千株)	0	今期Q1末自己資本比率	63.3%	前期ROE	11.4%	

(備考) 予想は、アルファ・ウイン調査部の予想

【 株価チャート (週末値) 9629 ピー・シー・エー 】 図表 C



ディスクレマー

アルファ・ウイン企業調査レポート (以下、本レポート) は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社 (以下、弊社) が作成したものです。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。(更新された) 最新のレポートは、弊社のホームページ (<http://www.awincap.com/>) にてご覧ください。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【info@awincap.com】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。SV2021-0802-1500